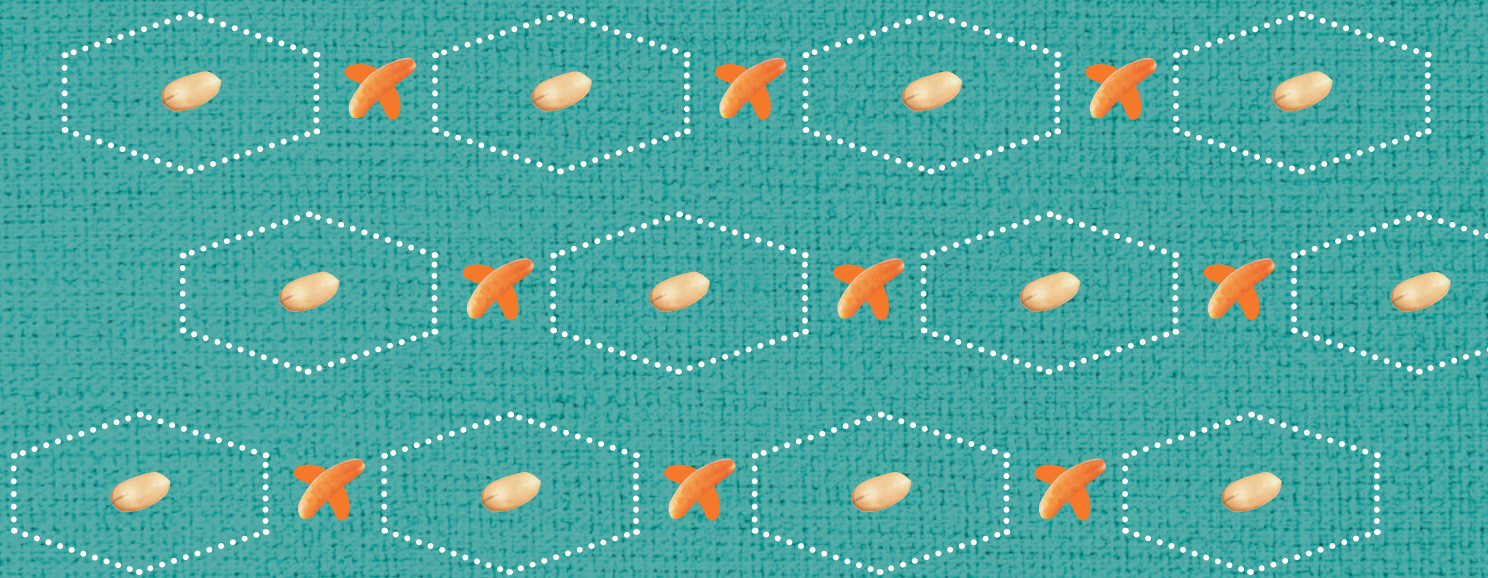




# 第63期 株主通信

中間 2019年4月1日～2019年9月30日





株主の皆様へ

## 製菓業から食品業へ向けて、新たな挑戦を実行して



代表取締役社長 COO  
佐藤 勇

代表取締役会長 CEO  
田中 通泰

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当グループは長期ビジョン「グローバル・フード・カンパニー」の実現を通じた持続的な成長を目指し策定した中期経営計画「Changing gears 2023」にもとづき、「事業領域の拡大」、「コスト・収益構造の転換」そして「経営基盤の強化」へ取り組んでいます。

2019年度上期は、国内米菓事業では、「ハッピーターン」を4年ぶりにリニューアルし販売を強化しました。また、昨年度に引き続き主力定番商品の販売強化に注力するとともに、それと連動した製造原価の低減にも取り組みました。

海外事業では、アジア市場においてクロスボーダー取引の拡大に向け拠点強化を進めるとともに、インドでは現地向け商品

# いきます。

の発売に向けた生産体制を整備しました。  
加えて、北米において拡大するグルテン  
フリー市場への取り組みを強化しました。

国内食品事業では、長期保存食の海外  
展開を見据えた対応を開始するとともに、  
アレルギー対応商品の販路拡大に取り組み  
ました。

これらの取り組みの結果、連結業績は  
増収増益を確保することができました。  
(詳細はP3～P4をご参照ください。)

当グループでは、国内米菓事業を柱とし  
て、海外における米菓事業の拡大と国内に  
おける食品事業の拡大を通じて持続的な  
成長を目指していきます。

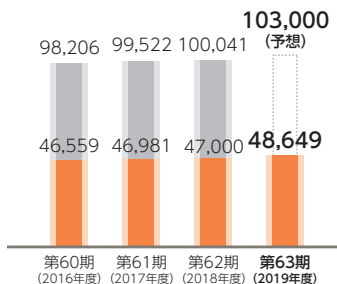
株主の皆様におかれましては、今後とも  
一層のご支援を賜りますようお願い申し  
上げます。

## 連結業績ハイライト(第2四半期)

■ 第2四半期 ■ 通期  
(単位:百万円)

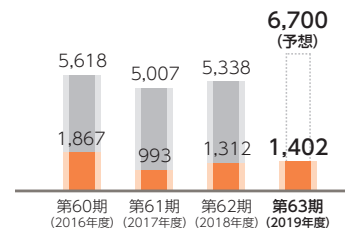
### 売上高

**48,649**百万円  
前年同期比 3.5%増



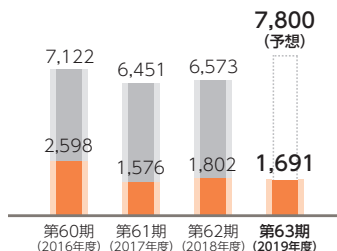
### 営業利益

**1,402**百万円  
前年同期比 6.9%増



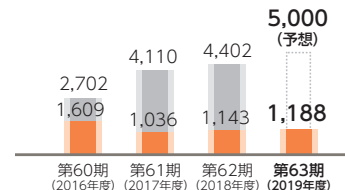
### 経常利益

**1,691**百万円  
前年同期比 6.1%減



### 親会社株主に帰属する 四半期純利益

**1,188**百万円  
前年同期比 4.0%増



## 事業別概況

### 国内米菓事業

売上高構成比率  
80.6%

前年同期比

売上高 39,231百万円 (3.9%増 ↗)

営業利益 1,892百万円 (20.9%増 ↗)

営業利益率 4.8%



- 上期の概況
- 売上高は、「亀田の柿の種」が季節限定商品の販売低下により前年同期を下回ったものの、リニューアルをした「ハッピーターン」や「亀田のまがりせんべい」等のせんべい系主力商品の販売強化により、増収となりました。
  - 営業利益は、主力商品の販売強化により販売促進費が増加したものの、増収効果とそれに伴い工場稼働率が向上した結果、増益となりました。

### 海外事業

売上高構成比率  
7.6%

前年同期比

売上高 3,707百万円 (5.7%増 ↗)

営業利益 △430百万円 (－)



※「海外事業」は、海外子会社に加え、国内の輸出入取引を含んでおります。

- 上期の概況
- 北米市場においては、Mary's Gone Crackers, Inc.では市場拡大に伴う競争激化への対応に遅れはあるものの、工場統合効果による製造原価の低減を進めました。加えて、KAMEDA USA, INC.の構造改革に取り組んだ結果、赤字幅は減少しました。
  - アジア市場においては、タイでは構造改革の一環として不採算取引の整理を実施、カンボジアでは水不足により生産能力が一時的に低下も対応策を講じ改善、中国では国内販売の拡大に向けて現地流通企業との取引も開始しました。

## 国内食品事業

売上高構成比率  
4.5%

前年同期比  
売上高 2,162百万円 (5.1%減 ↘)  
営業利益 △125百万円 (ー)

※「国内食品事業」の主な内容は、長期保存食や植物性乳酸菌に加え、玄米パン、ベジタリアンミート等であります。



- 上期の概況
- 長期保存食は買替需要サイクルの谷間にあり、新商品等を発売したものの減収減益となりました。
  - 植物性乳酸菌は販売体制の強化により、BtoB取引が伸張しました。
  - 2019年2月に子会社化した株式会社マイセンおよび株式会社マイセンファインフードは、グループシナジーを活かした販路拡大に取り組みました。

## その他

売上高構成比率  
7.3%

前年同期比  
売上高 3,548百万円 (2.6%増 ↗)  
営業利益 66百万円 (46.4%減 ↘)  
営業利益率 1.9%

※「その他」の主な内容は、貨物輸送等であります。



- 上期の概況
- 様々なコストの高止まりの影響を受け、配送費の値上げに取り組んだ結果、増収となりました。
  - 営業利益は、倉庫集約等による費用削減に取り組みましたが、燃料費の高騰およびドライバー不足等の影響を受け、減益となりました。

## トピックス

### 国内米菓事業

#### 「通のとうもろこし」

2019年9月発売

新商品情報

厳選素材の旨みをぎっしり詰め込んだ素材派チップス「通シリーズ」に新たに「とうもろこし」が加わりました。

スイートコーンの中でも甘味が強いスーパースイートコーンの粒を丸ごと生地に練りこむことで、とうもろこしの濃厚な甘味と香りを味わえるように仕上げました。

生地に厚みを持たせることで、かむたびにとうもろこしの濃厚な甘味と香りがお楽しみいただけます。



### 海外事業 // 青島亀田食品有限公司

#### 中国のお客様の声に応じて「ハイハイ」を4品展開へ

青島亀田食品有限公司は、日本で人気の高いベビーせんべい「ハイハイ」を現地のお客様向けに生産・販売しています。2019年9月より更なる市場のニーズに対応しバナナ味と野菜味をラインアップに加えた計4種類の味で、中国の乳幼児市場への本格展開を加速しています。

2018年3月にプレーンとりんご味の2種類で販売を始めた「ハイハイ」でしたが、お客様から「2種類では子どもが飽きるので、味をもっと増やしてほしい」という声を複数いただきました。日本では「ハイハイ」を食べるのは主に離乳食が始まる7ヶ月頃から1歳くらいまでの乳児。そのため「子どもが飽きる」という声を聞くことはありませんでした。そこで更に調べたところ、「ハイハイ」は日本では「赤ちゃん(乳児)が食べるせんべい」という認識が主であるのに対し、中国では「4~5歳までの子どもに安心して与えられる乳幼児用のお菓子」と認識されており、子どもの多様な嗜好を満たすものが求められていることが分かったのです。

そこで現地で開発を進め、中国で人気のあるバナナ味と、健康志向の高まりからニーズが高い野菜味をラインアップに追加。計4種類で、中国の乳幼児市場での展開を本格化していきます。



## 国内食品事業 // 尾西食品株式会社

### ハラール対応長期保存食でメッカ巡礼食市場に挑戦

尾西食品は、お湯や水を加えるだけでおいしいご飯が食べられるアルファ米を中心とする長期保存食のトップメーカーであり、災害備蓄食やアウトドア食として幅広くご利用いただいています。

同社は、イスラム教の聖地・メッカ(サウジアラビア)への巡礼者の携帯食としてハラール対応のエスニックシリーズ3品(ビリヤニ、ガパオライス、ナシゴレン)を開発、世界各地から200万人以上の信者が訪れたとされる2019年8月の大巡礼(ハッジ)の期間中に現地でテスト販売を実施し、商品は好評のうちに完売しました。

同社は、メッカ巡礼食を中心とする中東市場の開拓の他、米国、西欧等の海外市場への展開に注力しています。



### CSR活動

#### 環境にやさしい、ECOパッケージのラインアップ拡充に取り組んでいます。

当社はプラスチック使用量を抑えた、人と環境にやさしいECOパッケージ化を通してプラスチックゴミ問題に取り組んでいます。

2019年3月に実施した「通のえだ豆」「通の焼き海老」のECOパッケージ化を皮切りに、12月現在ではECOパッケージシリーズは8アイテムとなっています。今後更に商品の拡充を図り、ECOパッケージのラインアップを広めていきます。



★特集★  
1



ハッピー王国の  
ターンの王子  
©KAMEDA



# 「ハッピーターン」が4年ぶりにリニューアル!

「ハッピーターン」は、1976年の発売以来43年にわたりご愛顧いただいているロングセラー商品です。

お客様にこれまで以上に満足いただくため、2019年9月に4年ぶりのリニューアルを実施しました。

今回のリニューアルでは、味付けの最後にコク旨のおいしさをシャワーのようにかけて仕上げる『ハッピーシャワー製法』を開発しました。

この『ハッピーシャワー製法』により、コクと旨みの追い掛けで、味わい深いおいしさを生み出しています。

また、新イメージキャラクターのマツコデラックスさんを起用したTVCMを放映するとともに、お客様に「ハッピーターン」の味の変化を問う「#変わっターン #変わってなかつターン キャンペーン」も開催しました。

これからも「ハッピーターン」はおいしさを追求するとともに、新しいことにチャレンジしていきます。





★特集★  
2

グループ会社のご紹介

株式会社マイセン、株式会社マイセンファインフード



2019年2月に新たに亀田製菓グループの一員となった「マイセン」および「マイセンファインフード」(以下、マイセン)がどんな会社なのか、ご紹介します。

マイセンは玄米やお米の販売を主力事業としてスタートしました。

現在は、大豆とアーモンド以外のアレルギー特定原材料等を使用しない工場を保有しています。

健康とおいしさを両立する玄米パンやベジタリアンミート等を製造・販売することで業容を拡大しています。



商品紹介



大豆と玄米のベジフィレ／ベジミンチ

■ 安心の原材料

原材料は、大豆と玄米だけ。よけいなものは一切使用せず、自然のままの大豆と玄米を、丸ごと加工しています。

■ 栄養豊富でヘルシー

大豆と玄米が持つ、豊富な栄養素がたっぷりつまっています。高たんぱく・低脂質で体にうれしい。

■ 湯戻しかんたん

湯戻しするだけですぐに使えます。大豆と玄米の、豊かで香ばしい香りが様々なお料理にマッチします。常温で保存できるので、いつでもお使いいただけます。

100%玄米パンシリーズ

卵・小麦粉・バター・牛乳・白砂糖を一切使用せず、玄米100%で焼き上げたアレルギー特定原材料27品目不使用のパンです。



玄米ミニパン

小さな食べきりサイズの玄米ミニパン(レンジ専用)。アレルギー特定原材料27品目不使用のパンです。



おいしい玄米丸パン

レンジで温めれば、もっちりおいしい。甘さ控えめのアレルギー特定原材料27品目不使用のパンです。



おいしい玄米パン

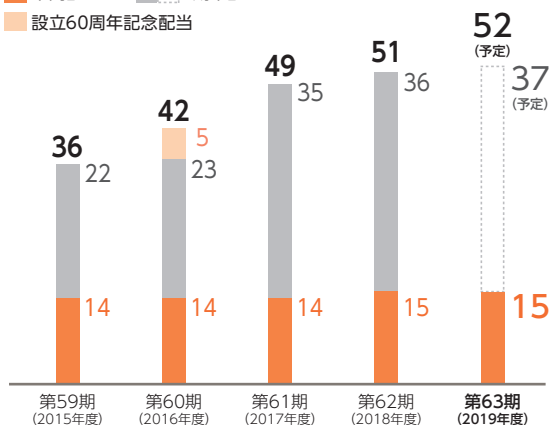
玄米100%で作った、アレルギー特定原材料27品目不使用の玄米パン(トースト専用)です。

# 株主様インフォメーション

## ■ 配当金のご案内

1株当たりの配当金 (単位:円)

■ 中間配当 ■ 期末配当  
■ 設立60周年記念配当



当社は、「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向けた国内外での投資と株主の皆様に対する利益還元バランスを考慮しながら、中期経営計画を実行し収益の拡大を図り、利益配分を安定的に拡大することを目指してまいります。また当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

2019年度 1株当たりの配当金 **52円(予定)**

中間配当金 **15円**

期末配当金 **37円(予定)**

## ■ 株主様へのご優待

**贈呈対象** 毎年9月30日現在の100株以上ご所有の株主様に、当グループ製品の詰め合わせを贈呈させていただきます。

**贈呈時期** 12月中旬頃

### 100～999株をご所有の株主様



1,000円相当の詰め合わせ

### 1,000株以上をご所有の株主様



3,000円相当の詰め合わせ

※画像は詰め合わせ製品例です。



# 会社概要／役員／株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 会社概要

商号 亀田製菓株式会社  
 設立 1957年8月26日  
 資本金 19億4,613万円  
 従業員数 1,430名 (連結 3,432名)  
 グループ会社

### 連結子会社 14社

**国内9社** アジカル株式会社  
 とよす株式会社  
 株式会社日新製菓  
 尾西食品株式会社  
 株式会社マイセン  
 株式会社マイセンファインフード  
 新潟輸送株式会社  
 亀田トランスポート株式会社  
 株式会社エヌ.エイ.エス

**海外5社** 青島亀田食品有限公司 (中国)  
 THAI KAMEDA CO., LTD. (タイ)  
 KAMEDA USA, INC. (アメリカ)  
 Mary's Gone Crackers, Inc. (アメリカ)  
 LYL KAMEDA CO., LTD. (カンボジア)

### 持分法適用関連会社 3社

**海外** TH FOODS, INC. (アメリカ)  
 THIEN HA KAMEDA, JSC. (ベトナム)  
 Daawat KAMEDA (India) Private Limited (インド)

## 役員

代表取締役会長 CEO 田中 通 泰  
 代表取締役社長 COO 佐藤 勇 勇  
 取締役 古泉 直 子  
 取締役 小林 章  
 取締役 (独立社外) 坂本 正 元  
 取締役 (独立社外) 関 誠 夫  
 取締役 (独立社外) 堤 殷 仁  
 取締役 (独立社外) 前田 仁  
 取締役 (独立社外) Mackenzie Donald Clugston  
 取締役 (独立社外) 三宅 峰三郎  
 常勤監査役 近藤 三千哉  
 常勤監査役 佐々木 淳  
 監査役 (独立社外) 矢澤 健 一  
 監査役 (独立社外) 湯原 隆 男

## 株式の状況

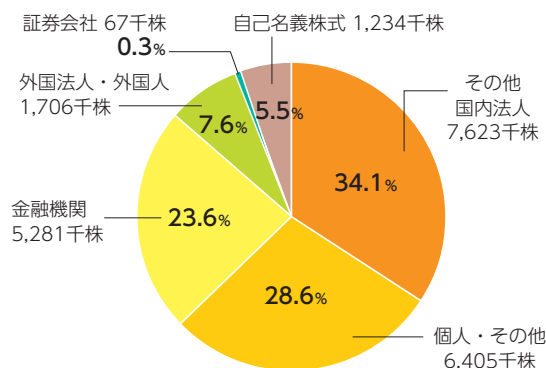
発行可能株式総数 59,251,000株  
 発行済株式の総数 22,318,650株  
 株主数 11,247名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社エイケイ	2,102	9.96
KAMEDA共栄会	1,971	9.35
株式会社第四銀行	1,039	4.92
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	789	3.74
株式会社みずほ銀行	762	3.61
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	741	3.51
亀田製菓従業員持株会	500	2.37
株式会社原信	414	1.96
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	350	1.66
キッコーマン株式会社	347	1.64

(注) 1.当社は自己株式1,234,422株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
 2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株主分布状況



## 亀田製菓のIRサイトのご案内

IR情報やプレスリリースなど、最新の情報をご覧いただけます。  
ぜひアクセスしてください。



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
剰余金の 配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
単元株式数	100株
株主名簿 管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告 公告アドレス： <a href="https://www.kamedaseika.co.jp/koukoku/index.html">https://www.kamedaseika.co.jp/koukoku/index.html</a>
証券コード	2220（東証1部）

	証券口座にて株式を 管理されている株主様	証券会社とお取引がない 株主様（特別口座の場合）
郵 送 物 送 付 先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電 話 お 問 い 合 わ せ 先	お取引の証券会社に なります。	フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く） 9:00～17:00
お 取 扱 窓 口		みずほ証券 および みずほ信託銀行
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 （みずほ証券では取次のみとなります）	

### 特別口座の単元未満株式(1～99株)の買取について

買取請求は、お持ちの単元未満株式(1～99株)を当社へ売却することができる制度です。特別口座で買取請求を行う場合は、買取代金の振込口座などを記入した「単元未満株式買取請求取次依頼書」をご提出いただくこととなりますので、みずほ信託銀行証券代行部(0120-288-324)までお問い合わせください。

# 亀田製菓株式会社

〒950-0198 新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号

電話 025-382-2111 (代表)

<https://www.kamedaseika.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。